

山行報告書

山名： 乗鞍岳 3025.7m (長野県松本市・岐阜県高山市)

入山日：平成 31年3月19日(火)~20日(水) メンバー：岩田、深谷、簗島 報告者：岩田

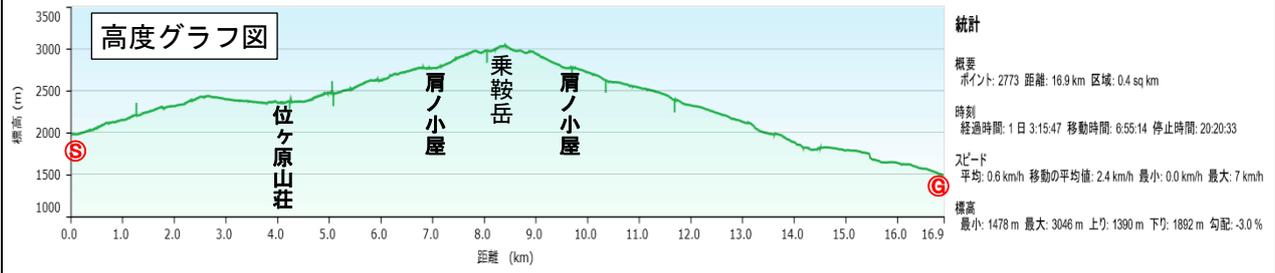


第一日目
3月19日
曇り/小雪

【車】6:40⇒6:55 桶川北本 IC⇒藤岡 JCT⇒更埴 JCT⇒10:00 松本 IC⇒11:10 スキー場前 P
12:10 スキー場 H=1480m リフト 3 本乗る⇒12:40 リフト終点 1990m ⑤ 12:55⇒15:10 ツアーコース分岐 2384m⇒16:00 位ヶ原山荘 (泊) 2365m ☎090-9001-7362 合計3時間5分

第二日目
3月20日
晴

⑤ 6:15 位ヶ原山荘 2365m⇒8:10~30 肩ノ小屋口 2630m⇒9:10~40 肩ノ小屋 2770m アイゼンをつける⇒10:43 朝日岳 2975m⇒10:55 蚕玉岳 2982m⇒11:10~30 乗鞍岳 (剣ヶ峰) 3025.7m⇒12:15~45 肩ノ小屋 2770m アイゼンをはずす⇒13:40~55 ツアーコース分岐 2389m⇒14:35 リフト終点歩く 1990m⇒⑤ 16:00 スキー場前 P 1480m 合計9時間45分
【車】16:40 スキー場前 P⇒松本 IC⇒21:35 桶川北本 IC⇒22:00



感想： 第一日目 - リフト終点でワカンをつけて林間のツアーコースを登る。小雪がちらつき雲の間から時々日が射すが、乗鞍岳の姿はガスの中で見えなかった。小屋分岐の標識を右折し、林の中を赤布頼りに小屋へ向かった。夕食は美味しい鹿肉鍋であった。宿泊者は他に一人のみ。

第二日目 - 前日とはな青空の快晴となった。無い位ヶ原の大雪原を高連峰が、前方には乗鞍てきた。



打って変わって抜けるようワカンを履いてトレースの一步一步登ると、後方には穂岳が現れ最高の展望となっ

冬季閉鎖中の肩ノ小デポし、アイゼンとピッケルの登りとなった。幸た雪の斜面はアイゼン

屋前でワカンとストックをケルに履き換えていよいよにも風は無く、クラストしが小気味良く効いた。

剣ヶ峰頂上からは雪に覆われた白銀の槍穂高をはじめ北アルプス、中央アルプス、南アルプスそして御嶽山、白山等々の大パノラマであった\(^o^)/。下山は肩ノ小屋に戻り、ワカンに再び履き替えて大雪原を下り、さらにスキーリフトの下りは利用できないので、スキーグレンデ内を駐車場まで歩いた。 フォトギャラリーは "[山の記録・MountainView](#)" をクリックしてください。